



今年の高校入試の分析からこんなことがわかりました！

合格者の数学の平均点は、48.5点

☆正答率(※)が高かったのは、大問1の各問題、大問2以降の基礎的・基本的な知識や技能に関する問題です。特に式の計算、関数、角度の計量については、定着が図られています！



特徴的な問題を見てみましょう！

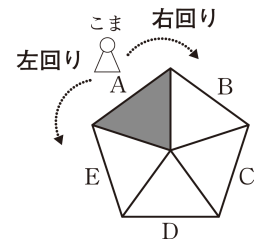
2 1 正五角形を5等分して作られた三角形のカードA, B, C, D, Eがある。それぞれのカードは、一方の面が白色、もう一方の面が黒色であり、正五角形の形になるように置かれている。

右の図は、カードAのみ黒色の面を上にして、コマをAの位置に置いたものである。この状態から、1から6までの目が出るさいころを使って、次の①, ②の手順で【操作】をおこなう。

このとき、下の(1), (2)の問いに答えなさい。

(1) 次の文中の に当てはまる数を答えなさい。また、 には理由を書きなさい。

①の操作で、さいころを投げて の目が出ると、②の操作の後は、黒色の面が上になるカードが、かならず1枚だけになる。その理由は である。



<標準解答> ア 5 イ (例) 1回目に5の目が出ると、カードAがうら返り、すべてのカードは白色の面が上になるので、次にどの目が出ても黒色の面が上になるカードは1枚だけになるから

<ねらい>

この問題は、【操作】の手順にしたがってカードをうら返す試行について、【操作】を理解し、特定の事象が起こる理由を説明することができるかを問う問題でした。

<分析>

正答率はアが75.5%、イが55.6%でした。課題としては、【操作】を理解できていないことや、特定の事象が起こる理由を自らの言葉で説明することができていないことなどが考えられます。

<提案>

授業では、場合の数や確率を求めるだけでなく、具体的な操作を通して、不確定な事象の起こりやすさを、場合の数や確率を用いて説明し、伝えあう活動を取り入れるなどの工夫も必要です。



「分かる！できる！」まで教えよう！！(授業改善のkeyword)
各問いの出題内容・ねらい及び正答率は裏面をご覧ください！
詳しい分析は、報告書や県教育研修センターのHPをご覧ください！

(※)正答率については、合格者3,205人の中から、無作為に抽出した613人(19.1%)分のデータです。